

【「コンテンツの制作と発信」 動画のコンテンツ制作】①

【島根県立情報科学高等学校】

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

生徒自ら撮影した動画素材を編集し、オリジナルの動画を制作する。制作する動画の企画立案、絵コンテの作成、表現技法や撮影技法の工夫、編集までの一連の流れを理解し制作する。完成後は作品発表会を行い、制作者は意図や工夫点などを発表するとともに、他の生徒と相互に評価し、改良につなげる。

評価規準

【知・技】動画を制作する技術を身に付け、実際に作品を制作することができる。

【思・判・表】制作過程において、自分のイメージする動画を制作するための構成、撮影・表現技法を創造的に活用できる。

【主】動画の企画立案から編集の過程において、問題が発生してもウェブで調べたり、周囲に相談したりして解決しようとしている。

主体的・対話的で深い学びを実現する実践的・体験的な学び、個別最適な学び、協働的な学び

制作動画の企画・立案

動画素材の撮影・編集

作品発表

フィードバック・改良

学校のプロモーションビデオ（PV）の制作をテーマに、一連の動画制作活動を行う。

- ・動画制作業（広告業）のプロから、カメラワークや編集手法の紹介や素材撮影の際の留意点などを学び、ワークショップで実際に制作活動やフィードバックを行う。
- ・得た知識、技術をもとに、PVの企画立案、絵コンテの作成を行う。教員や他生徒との対話により、ブラッシュアップする。
- ・生徒が撮影したものと、動画制作業者のものを加えた素材をもとに、1人あたり2～3分程度の動画の編集・制作を行う。
- ・作品発表会を行い、フィードバックをもとに改良する。

【「コンテンツの制作と発信」 動画のコンテンツ制作】②

【図① 動画制作業の講師による授業】



【図② 合成動画用に素材を撮影する様子】



【動画とコンテンツの制作】 概要と具体的な取組

- (1) 動画制作業（広告業）の講師から、カメラワークや効果的な編集手法の伝授と素材撮影の際の留意点を学び、ワークショップで実際に素材を撮影、フィードバックを生徒が相互に行う。
- (2) これまでの授業や講師の話から得た知識・技術を活用し、学校のプロモーションビデオ（PV）の企画立案、絵コンテの作成を行う。授業者や他の生徒との対話により、ブラッシュアップする。
- (3) 生徒、動画制作業者の撮影した素材をもとに、生徒は2～3分程度の動画を編集・制作を行う。
- (4) 作品発表会を行う。動画制作者が作品の意図、工夫点などを発表し、他の生徒からの感想、改良に向けたアドバイスを受ける。発表後も改良を続け、最終作品を仕上げる。
- (5) 授業者は、生徒の制作過程や作品発表会への取組姿勢、作品の仕上がり、他生徒への感想・アドバイスを伝える際の態度、当初からの変容を把握する。

本事例で取り上げているのは、科目「コンテンツの制作と発信」の指導項目（３）動画のコンテンツの単元である。動画制作のプロセスは、生徒たちにクリエイティブな思考力と技術力、そして表現力を育む絶好の機会である。また、生徒の興味が強い分野であり、主体的な学びにもつなげたい単元でもある。

本事例では、情報科の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学習へつなげるために、外部の専門人材を活用した授業、生徒の相互評価による作品の改善が行われる構成になっており、実際の社会で行われている職業を意識した専門性の高い授業になっている。

また、教員や外部人材、生徒との相互評価など、対話的な場面が設定されていることから、他者の意見を尊重しつつ、自分の考えを深めていく力の育成も行われている。

企画から編集までの全工程を通じて、実際の業務に近い体験を積むことで、知識や技術の深まり、さらに作品発表会を通じて得られるフィードバックにより、自己評価と改善の循環を生み出し、学びの質をさらに高めることにつながっている。